

京葉ケミカル(株) 環境方針

基本理念

弊社は、1975年(昭和50年)8月塗料・シンナー販売目的で創業以来、産業廃棄物の収集運搬も含め、長年にわたって塗料・シンナーや金属洗浄剤を主に販売して参りました。

今や時代は大量生産・大量消費から地球環境との調和を目指す方向へと大きく変革しつつあります。

弊社が販売する製品は環境負荷が高いために、お客様の立場での製品・設備選定、設備メンテナンス、産業廃棄物処理など各プロセス効率化や環境負荷低減の継続的提案活動を行なって参ります。

この環境保全活動のスローガンとして

『お客様の立場で提案できる企業を目指す!』 を掲げました。

弊社は、事業活動のあらゆる面で地球環境の保全に配慮し、地域社会への貢献を目指します。

基本方針

- 1 わたしたちは、環境マネジメントシステムを構築し、有効に運用することにより、環境汚染の予防・環境保護の支援に取り組みます。
また環境パフォーマンス向上と目的・目標の継続的改善に取り組むと共に見直します。
- 2 わたしたちは、環境に関する適応可能な法規制や弊社が同意した要求事項を守ります。
- 3 わたしたちは、基本理念を達成するために次の具体的な重点課題に取り組みます。

(1) 製品、設備及びサービスの提案・販売活動

特に今年は、お客様のニーズ・期待を掘り起こし、それに合致した品揃え・提案・販売を積極的に行います。

(2) 中期目標を設定し、その活動実績の把握を行います。

特に今年は、PRTR対象物質の数量把握とSDS対応に努めます。

(3) 二酸化炭素(CO₂)削減の社外・社内活動

特に今年は、社外においては新規洗浄剤・洗浄装置のセット提案を、社内では配送業務の効率化に重点をおいて取り組みます。

① 二酸化炭素排出量の削減

・製品の納入、産業廃棄物の回収における燃費向上(配送車両、営業車)
→昨年度(2013年度)対比3%減の原単位数値目標で取り組みます。

原単位 = (燃料数量) / (溶剤+洗浄剤+産業廃棄物量)

・事務所、工場における電力の節減

→昨年度(2013年度)対比1%減の数値目標で取り組みます。

② 廃棄物の排出量削減

・一般廃棄物(事務所他)

・産業廃棄物(廃プラ、金属他)

→昨年度(2013年度)対比1%減の数値目標で取り組みます。

③ 水の効率的な使用

・事業用地下水の削減

→昨年度(2013年度)対比1%減の数値目標で取り組みます。

④ グリーン購入(再生ドラム含む)の推進

・グリーン購入製品の増加

→事務用品は昨年度(2013年度)対比5%増の数値目標(件数)で取り組みます。

→再生ドラムは昨年度(2013年度)対比5%増の数値目標(購入数量)で取り組みます。

⑤ 取引先への環境情報の提供

・商品及び産業廃棄物関連環境情報(商品のSDS、環境法令他)

→昨年度(2013年度)対比5%増の数値目標(件数)で取り組みます。

⑥ 社会貢献活動への参画

・白井工業団地協議会への参加

→昨年度(2013年度)対比5%増の数値目標(件数)で取り組みます。

(4) 品質保証のレベルアップ活動

特に今年は、各部署の不具合を把握し業務改善に努めます。

- 4 わたしたちは、環境教育を通じ環境保全に関する知識を高め、その実践に努めます。

この環境方針は弊社の全ての要員及び弊社のために働く全ての人々に周知し、外部に公表致します。

改定：2015年02月12日

制定：2014年08月01日

京葉ケミカル株式会社

代表取締役

野辺 晃司